-						
Title	大正デモクラシーから「維権デモクラシー」を考える					
Sub Title	Taisho democracy as a reference point for examining Weiquan democracy					
Author	呉, 茂松(Wu, Maosong)					
Publisher	慶應義塾大学					
Publication year	2021					
Jtitle	学事振興資金研究成果実績報告書 (2019.)					
JaLC DOI						
Abstract	中国近現代史における維権運動の意義について究明するためには、歴史的な視点が不可欠である 。そこで、日本の近代化の先例が中国を理解する上で参考に値すると思われ、私は日本の近現代 史について勉強した。勉強にあたって次の3つの問題を設定した。一つは、日本の政治的民主化は どのような経緯を辿ったのか。次は日本の有権者はどのように生まれたのか。三つ目は、日本の リペラリズムはどのように形成したのか、などである。暫定的にではあるが、日本の近現代史に ついて下記の認識に至った。 明治維新、自由民権運動、大正デモクラシー、戦後民衆主義といった系譜で観察した際に、日本 の近現代史は一部の地方のエリートが要求してきた選挙権、近代的権利権者として民主主義を学 習するプロセスであった。それは社会活動、政治運動だけではなく、文学においても、顕著に現 れた。とりわけ大正デモクラシーに見られた諸特徴は、中国の維権運動期と類似している部分が 多い。また抱えている矛盾にも共通性が観られた。日本の場合、大正デモクラシー期における社 会の変化と当時の天皇制を中心とした政治体制との緊張関係、中国の場合、多様化が進む社会と 一元化を求め時の予止動家体制の緊張関係は、両時代が抱えていた構造的矛盾であった。大正デモ クラシーのダイナミズムがその後の対外拡張の軍国主義に動員され、国家主義という一元化した 政治体制に吸収されたしまった。だが、戦後民主主義の発展の受け皿、あるいは基礎であったこ とは否定できない。この認識は大正デモクラシーと現代中国との比較を通じて、「維権デモクラ シー」の仮説を提示するための前提である。 Research into the significance of the Weiguan movement in modern Chinese history will be necessary; this will require a historical perspective. In this research, the example of Japan's modern and contemporary history for several years, I decided that I wanted to answer these questions: How did democratization of politics in Japan come about? How were Japanese voters born? And how did Japan's liberalism arise? Looking back over modern history from the Meiji Restoration, the Freedom and People's Rights movement, and Taisho democracy to democracy which manifested itself in different ways, from demands for enfranchisement among local elites to a spreading consciousness of modern rights among the public, which eventually gave birth to a modern citizerry and potential voters. This movement developed not just through social activities and political movements but also through literature. In particular, many aspects and contradictions of Taisho democracy are similar to those of the Weiquan movement period in China.					
Notes						
Genre	Research Paper					
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=2019000007-20190266					
	I I I I I I I I I I I I I I I I I I I					

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって 保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## 2019 年度 学事振興資金(個人研究)研究成果実績報告書

研究代表者	所属	経済学部	職名	准教授	- 補助額	200 (B) <del>1</del> 円		
	氏名	呉 茂松	氏名(英語	) WU, MAOSONG				
研究課題(日本語)								
大正デモクラシーから「維権デモクラシー」を考える								
研究課題(英訳)								
研允課題(央訳) Taisho democracy as a reference point for examining Weiguan democracy								
1. 研究成果実績の概要								
中国近現代史における維権運動の意義について究明するためには、歴史的な視点が不可欠である。そこで、日本の近代化の先例が								
中国近境代史における維権運動の急義について先明するためには、歴史的な税点が不可欠である。そこで、日本の近代化の先例が 中国を理解する上で参考に値すると思われ、私は日本の近現代史について勉強した。勉強にあたって次の3つの問題を設定した。一								
中国を理解する上で多々に置すると恐われ、私は日本の近境化文について超強した。超強にめたうて次のようの问题を設定した。 つは、日本の政治的民主化はどのような経緯を辿ったのか。次は日本の有権者はどのように生まれたのか。三つ目は、日本のリベラリ								
ズムはどのように形成したのか、などである。暫定的にではあるが、日本の近現代史について下記の認識に至った。								
明治維新、自由民権運動、大正デモクラシー、戦後民衆主義といった系譜で観察した際に、日本の近現代史は一部の地方のエリート								
				形で現れる言い換えれば、近				
				治運動だけではなく、文学にお				
け大正デモクラシーに見られた諸特徴は、中国の維権運動期と類似している部分が多い。また抱えている矛盾にも共通性が観られ								
た。日本の場合、大正デモクラシー期における社会の変化と当時の天皇制を中心とした政治体制との緊張関係、中国の場合、多様化								
が進む社会と一元化を求める党・国家体制の緊張関係は、両時代が抱えていた構造的矛盾であった。大正デモクラシーのダイナミズ ムがその後の対外拡張の軍国主義に動員され、国家主義という一元化した政治体制に吸収されたしまった。だが、戦後民主主義の発								
国の受け皿、あるいは基礎であったことは否定できない。この認識は大正デモクラシーと現代中国との比較を通じて、「維権デモクラシ								
んの文行血、あるいな金旋であったことは自足できない。この認識は穴血ケビノクシーと現代中国この比較を通じて、「福福ケビククシー 一」の仮説を提示するための前提である。								
2.研究成果実績の概要(英訳)								
Research into the significance of the Weiquan movement in modern Chinese history will be necessary; this will require a historical								
perspective. In this research, the example of Japan's modernization can be a worthwhile reference for understanding China. After								
studying Japan's modern and contemporary history for several years, I decided that I wanted to answer these questions: How did								
democratization of politics in Japan come about? How were Japanese voters born? And how did Japan's liberalism arise? Looking								
back over modern history from the Meiji Restoration, the Freedom and People's Rights movement, and Taisho democracy to								
democracy in postwar Japan, we can see that there has been a process of learning about democracy which manifested itself in								
different ways, from demands for enfranchisement among local elites to a spreading consciousness of modern rights among the public,								
which eventually gave birth to a modern citizenry and potential voters. This movement developed not just through social activities and								
political movements but also through literature. In particular, many aspects and contradictions of Taisho democracy are similar to								
those of the Weiquan movement period in China.								
3.本研究課題に関する発表								
発表す (著者・	皆氏名 講演者)	発表課題名 (著書名・演題)		発表学術誌名 (著書発行所・講演学会)	学術誌発 (著書発行年月	洐年月 」・講演年月)		
呉茂松		「現代中国政治の新たな正約 泉は?	充性源 「日言	学」	2019年11月9	B		